



菅波 茂

99.9.2

世の中で耐えられないことは孤立していること。人間関係が無いこと。だれも関心を持ってくれないこと。寂しさゆえに人は人間関係を求める。難民キャンプにわずかな人数の医療チームを派遣するときに何がキャンプの難民にとって有り難いのか。当然病気を治してもらえることである。それ以上に喜ばれるのは社会から見捨てられないという実感が持てるからである。見捨てられたと感じる時、絶望感が難民を襲う。

人間関係には3種類ある。フレンドシップ、スポンサーシップそしてパートナーシップである。違いは簡単である。フレンドシップ

は利を共にしない。スポンサーシップは利を共にするが苦勞は共にしない。パートナーシップは利も苦勞も共にする。

すべ結べて長持ちする人間関係

スポーツNGO

はフレンドシップである。難民キャンプやスラム地区などで人間関係が疎にして不信に満ちている時にフレンドシップを促進する確実な方法論がある。それはスポーツである。スポーツを通して人道援助を行うのが「スポーツNGO」である。

アジアの世界遺産であるアンコールワットでハーフマラソンを実施した収益金で、地雷で足を無くした人たちを支援してきている。

AMDAは世界中で難民支援やスラム地区での健康向上などのプロジェクトを実施している。一番大切なのは難民および住民の団結力である。団結力が確立すればプロジェクトはもう50%成功したも同然である。お金がかからなくてお互いが知り合いになれば、親しくなるスポーツには走ること、サッカー、バレーなどがある。

日本にもきざりりと輝く「スポーツNGO」がある。「HEART

「HEART OF GOLD」が世界中にスポーツを通したフレンドシップのネットワークを展開することは、AMDAの活動にとってこの上ない味方である。

OF GOLD・心の金メダル」である。マラソンの有森裕子さんが代表で、田代邦子さんが事務局長である。過去2年間カンボ

(アジア医師連絡協議会代表、題字は筆者)